

# 筑後川花火大会

久留米大学留学生別科

A クラス 214BD02

李珏

## 1. はじめに

筑後川花火大会は毎年、福岡県久留米市で行われる花火大会である。この花火大会は毎年8月5日に行われ、西日本最大級の花火大会と言われている。私は2015年8月5日に初めて筑後川で行われた第356回花火大会を見に行き、その大きさと花火の壮観さに感動した。そして、私は筑後川花火大会がいつ始まり、どのような歴史があるのかに興味を持った。今回、私は筑後川花火大会について詳しく知りたいと思い、レポートを書こうと思う。

## 2. 筑後川花火大会の由来——水天宮奉納花火大会

水天宮のホームページによると、筑後川花火大会の始まりと言われているのは、西暦1650年に久留米藩の藩主である有馬忠頼公が水天宮社地に社殿を寄贈した際、その完成祝賀にあたって花火を奉納したことである。その後「水天宮奉納花火大会」と名付け、1965年までこの名を使用し続けたのである。1965年に現在の名称「筑後川花火大会」に改名した。また、当時久留米市街地の各例大祭を統合した久留米水の祭典が当大会に合わせて1972年より開始されたことで、水の祭典の終わりを飾る意味も加えられた。筑後川花火大会は、水天宮夏大祭の奉納花火としてあげられるイベントであり、筑後川花火大会と水の祭典久留米祭りとは歴史的には関係がなかった。

## 3. 筑後川花火大会の現状

水の祭典久留米まつりの公式サイトによると、筑後川花火大会は現在、西日本最大級の花火大会だと言われているが、その規模は毎年約1万8000発の花火が打ち上げられるほどである。会場には露店が400店以上並び、久留米B級グルメの店も出店する。花火の打ち上げ会場は九州最大の河川である筑後川の河川敷で、水天宮の正対岸に設置されている。また、2004年から久留米城の河川敷にも新しい花火の打ち上げ場所が設置された。今は京町会場対岸、篠山会場対岸の二つの打ち上げ会場、京町会場、篠山会場、小森野会場、鳥栖会場、長門石会場、みやき会場の六つの観覧会場があり、毎年45万人以上の観客がある。大会当日は渋滞が激しいため、公共交通機関での来場が呼びかけられている。

## 4. インタビュー

筑後川花火大会の現状とこれからどのように観客を呼ぶかを詳しく調べるため、

2016年1月13日に久留米観光コンベンション国際交流協会インタビューを実施した。以下はインタビュー内容である。

1) 花火大会を行う時一番心配なことは何ですか。

一番心配しているのは天気のことです。それと、風が強いと花火も打ち上げられないので、心配です。そのため、打ち上げの5日以外も予備日を用意しています。8月7日、9日、11日が予備日になっています。

2) 花火大会を行う時、安全面ではどんなことに気を付けていますか。

当日の観客の安全が一番気をつけています。久留米市は鳥栖市と共同で安全対策を立案しています。総合司令所を設置して、会場とその周辺を8つのブロックに分けて、ブロック分け安全対策を実施しています。統括責任者をはじめ、8つのブロックにそれぞれ責任者を設置しています。

3) 毎年できるだけたくさんの観客に見てもらうために、どのような工夫をしていますか。

毎年5つの広報活動をしています。

- ① 7月15日の広報紙に花火大会開催告知・交通規制等案内図を公表します。
- ② ホームページに花火に関するトピックス画面を組み、開催日、会場の告知、会場案内図、交通規制など各種の情報を載せます。
- ③ コミュニティーFM・ケーブルテレビの市の提供枠で繰り返し花火情報を放送すると共に、当日の生放送中に誘導情報を流します。
- ④ 記者会見等パブリシティ活動を行います。新聞等のマスコミに対して、会場案内図の紹介等について積極的な資料提供や記者会見を行い、紙面掲載や放送を促します。
- ⑤ 市民への徹底した周知を図るため、会場案内、交通規制、JR東西自由通路の時間帯規制、JR臨時乗車券発売所の東西出入り口への設置等、花火の内容をわかりやすく表示したチラシを作成し、配布します。

4) これから筑後花火大会をさらに大きくする予定がありますか。

いいえ、このままの規模を維持します。平成13年の兵庫県明石市で発生した花火大会重大事故の原因で、平成16年から「安全の徹底」を最優先にしています。新しい打

ち上げ会場の設置も客を分散するためです。これ以上規模を拡大するとトラブルが発生する可能性があるので、今はこのままの規模を維持します。

5) 平成 27 年度の花火大会は、いくら支出しましたか。企業からの協賛金はありますか。

予算額は約 6,600 万円でした。その中で企業からの花火協賛金が 3,200 万円で、久留米市からの補助金は約 2,700 万円でした。予算は主に花火代、設備費、警備費などに使っています。

#### 5. インタビューの感想および提案

インタビューを実施した後、一番実感したのは、久留米市の安全第一という姿勢である。規模の拡大よりトラブル発生の可能性を出来るだけ下げる理念に私は感銘を受けた。これから安全を大事にした上で、より多くの観客に筑後川花火大会を知らせて、花火大会を見に行けるように、私は筑後川の久留米側だけでなく、鳥栖側に観覧会場を増設し、久留米と鳥栖の間に臨時シャトルバスを運行させたらいいと思う。これによって観客が分散し、渋滞を緩和でき、安全を保つと同時により多くの観客を受け入れられるだろう。

#### 6. 終わりに

日本に来て、私の久留米での生活は快適だった。この 1 年半で、色々な日本文化を体験し、久留米や日本について更に深く理解した。花火大会は日本人にとって重要なイベントであり、大切な文化でもある。今回のレポートは、自分の視野を広げるためでもあり、この文化の素敵らしさを多くの人に知らせるためでもある。そして、私も資料調査とインタビューを経て、久留米という町の人への心配りを実感し、この町のことがより一層好きになった。これからも色々なイベントに参加し、日本文化の素敵らしさをより多くの人に知らせるよう努力したいと思う。

#### 参考文献

水天宮 <http://www.suitengu.or.jp/> (2016 年 1 月 5 日参照)

水の祭典久留米まつり 「筑後川花火大会」 OFFICIAL SITE

<http://kurume-matsuri.info/fire.html> (2016 年 1 月 5 日参照)



写真1



写真2

筑後川花火大会 (2015年8月5日筆者撮影)